

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	Extensive Reading A		
英文授業科目名	E x t e n s i v e R e a d i n g A		
開講年度	2004年度	開講年次	3, 4年次
開講学期	5, 7(6, 8)学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	酒井 邦秀		
居室	東1-716		

公開E-Mail	授業関連Webページ
k-sakai@e-one.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>昨年度に酒井の英語演習を履修した人を優先し、多読で培った英語処理能力(?)を音声やwritingへと広げていきます。</p> <p>一人一人を個別に指導するので、どの人もおなじ達成目標というわけではありません。達成目標については授業がはじめてから相談しましょう。</p>
--

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>昨年度の酒井の英語演習を取った人を優先しますが、集まった人数によってははじめての人を入れる可能性もないではありません。</p>

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>ありません。</p>

<p>【教科書等】</p> <p>教室で読む本も持って帰って読む本もこちらで用意します。 ただし、「読書記録手帳」(500円)を生協で買ってください。</p> <p>そのほか音声素材、映像素材を用意します。</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

読むことについてはいつも通りですが、人によって、音声素材、映像素材を使うかもしれません。また、論文を読み書きする準備を始める人も出てくるはずですが、すべてはそれぞれの人と相談の上で進めません。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学生は本を借りて持って帰る事が出来ますが、この授業には宿題がありません。小テストも試験もありません。成績は出席で決めます。1回も欠席や遅刻しない学生は、秀(A)をもらえます。1回しか欠席しない学生は、優(B)をもらえます。2-3回欠席する学生は、良(C)をもらえます。4回欠席する学生は、可(D)をもらえます。3回の遅刻は1回の欠席として扱います。(もし、遅刻や欠席の理由があったら、特別の扱いをする可能性があります、学生は私に知らせる責任があります。)

【オフィスアワー：授業相談】

随時。
家に持って帰った本を読み終わって、酒井の研究室に本を取り替えに来たときに、随時読書相談を行います。これまでは毎日3, 4人が来ています。みなさんも気軽にドアをノックしてください。

【学生へのメッセージ】

せっかく相当な速度と理解力で英語を読めるようになったのだから、もっとたくさん読むことでそれをさらに伸ばし(これは授業中以外にできるようになっているはず?)、音声とwritingへ広げていきましょう。最後にはTOEICの指導もひょっとしたらします。

【その他】

1学期につき1000円を集めて、図書を買います。学期の終わりに好きな本を2冊持って帰ることができます。
12月または1月にTOEICを受験してスコア・シートを提出してください。提出されない場合は成績がつかないので、注意してください。